

1 ねらい

「よい聞き手」になるために大切なことを考えることができる。【関】

2 学習の流れ

時間	主な学習活動	教師の支援
5分	1 「聞くこと」についての自分の経験を出し合う。	・自分が聞くときと聞いてもらったときの両方について、経験を想起させる。
10分	2 単元のめあてを確認し、学習計画を立てる。	・これまでの学習でできるようになったことを確かめる。
5分	3 本時のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     「よい聞き手」になるために大切なことを考えよう。                 </div>		
15分	4 自分の話の聞き方と結びつけて、「よい聞き手」になるために大切なことを考える。	・活動1での発表も生かす。 ・相手を設定して自分の聞き方を想起させる。
5分	5 学習のまとめをする。	・p.35の「たいせつ」をもとにしてまとめる。
5分	6 ふり返りをして、次時への見通しをもつ。	・単元のめあてや学習計画に立ちもどり、次時のめあてにつなげる。

3 評価

「よい聞き手」になるために大切なことを考えている。(発表, ノート)